

2025 年 6 月 23 日

メディア関係者各位

ライフビジョン研究室

ミドルシニアの不安や悩みを軽減してポジティブに生きる！を提案する「終活×生存確認」の新しい終活ワークアプリをリリースします。

■ サービス名：終活ワークアプリ enn（えん）

enn（えん）には、enjoy ending、縁、円滑、円満、永遠の意味を込めました。

■ サービス開始日：2025 年 7 月 7 日

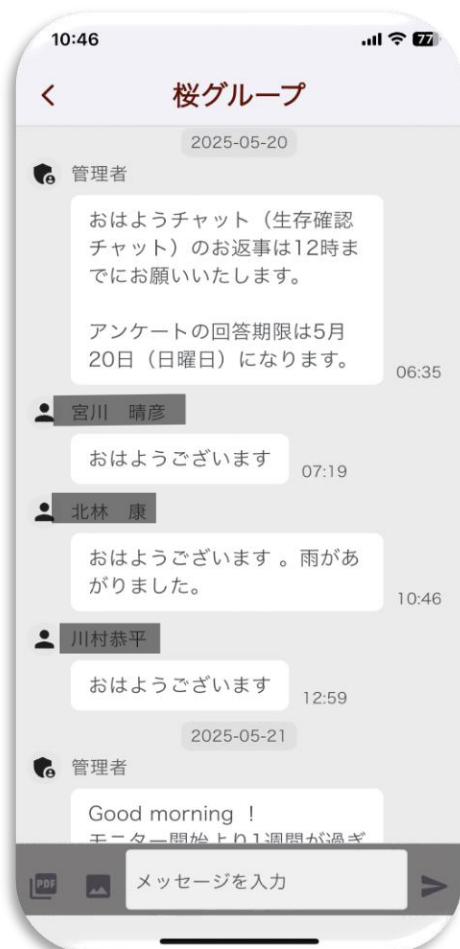
■ 概要：終活と生存確認が一体となったハイブリッドタイプ。終活に必要な知識や情報、実践ワーク、さらに見守り機能（生存確認チャット）を標準搭載。人生の後半戦を前向きに生きるための情報とサポートを提供しつつ、ワークのミッションをクリアして滞りがちな終活をスムーズに進めていくためのアプリです。

終活はネガティブから、終活はリスク管理＝カッコいい高齢者となるツールです。

アプリホーム画面



おはようチャット(生存確認)の画面



## ■ 利用料金

入会金 2000 円

利用料 1 カ月 1,110 円または、年間 10,000 円（1 日に換算すると約 33 円）

**<リリース記念> 先着 300 名に限り、8 月末まで無料で利用できます！**

## ■ サービスの特徴

### ① 終活 × 生存確認の融合

- “生存確認チャット”を搭載し、定期的な安否確認が可能（毎日・隔日・週1の選択）。
- 定期的に届くチャットが終活ミッションのリマインダーとしても機能し、進行の後押しに。
- 共通項グループ内でチャットが届く設計により、「独りではない」という安心感を演出。

### ② 「こころの終活」を重視

- 相続や供養といった“モノとコト”に加え、自分らしく生き切るための「こころの終活」ワークを提供。
- 悔いを残さず、やり残したことを実行するための思考整理と行動支援。

### ③ デジタル × 手書きのハイブリッド方式

- 個人情報を Web 上に保存せず、紙のワークシートに記録。
- セキュリティ面の安心と、記録の「見える化」「受け継ぎやすさ」を実現。

### ④ セカンドライフに有益な情報提供と個別相談

- セカンドライフを生きるために必要な法律・お金・医療・暮らしの知識を、週1～2回アプリから配信。
- カウンセリング・コーチングによる個別相談も可能。

## ■ 他の終活にはないユニークな終活ワークの一例

こころの終活&家族・・・「バケットリストを作ろう」「熟年離婚を回避するには」「いつかはみんなおひとりさま」

お金・相続・・・「年金には時効がある」「自分の思いを未来に託す」

身体・医療・介護・・・「人生会議を開こう」「介護を始める際の基本ステップ」

デジタル情報・・・「Facebook の追悼アカウントを登録しておく」

断捨離・終の棲家・・・「古着や台所用品を送って社会貢献」「地方移住について」

葬儀・墓・供養・・・「メタバース霊園とは？」「葬儀の生前予約が増えている」

■ 対象となるユーザー：

終活は必要だと思っているが始められない人  
終活をいつどのように進めていけばいいかわからない人  
エンディングノートを購入したけど記入が止まっている人  
子育て・仕事が一段落し、自身の老後を考え始める 50～60 代のミドルシニア層  
一人暮らしや配偶者を亡くした高齢者

■ 今後の展開

BtoB として終活新規参入企業、地方自治体等への導入も予定。  
導入企業との連携、広報活動を順次展開予定。

■ アプリ開発者のプロフィール

吉川和世（本名：小林和代）

シングルマザーで子育てをしていた 20 代後半に終活に興味を持つ。東京学芸大学卒業後、編集・企画・塾講師などを経て、教育系 NPO 法人を設立し代表理事を 9 年間務める。2025 年ライフビジョン研究室を創設。

著作：「失敗しない！ 親と子の終活ガイドブック」  
「後悔しない人生を送るこころの終活ワークブック」  
「40 代から始める安心の作り方」 いずれも Amazonkindle 出版より

---

■ 本プレスリリースに関するご質問・取材のご依頼は下記まで。

ライフビジョン研究室 〒121-0052 東京都足立区六木 1-17-20-103

メール：[ennkau.kazuyo@gmail.com](mailto:ennkau.kazuyo@gmail.com)

HP: <https://ennkatu.hp.peraichi.com/>

電話番号：070-3224-3939

\*アプリのテスト版（iPhone 用）を体験したい場合は、メールにてご連絡ください